

全国中心市街地活性化 まちづくり連絡会議

第6回 勉強会 in 豊田市

平成 22 年 2 月 18～19 日、
「全国中心市街地活性化
まちづくり連絡会議第 6
回勉強会」が豊田市で開催
されました。



今回の勉強会には、34 社 74 名（賛助会員等含）の
方々にご参加いただきました。（H22.10 時点の会員数
69 社）

【第 1 日目】

第 1 日目は、豊田市駅前通り南地区市街地再開発事業
で整備した、コモ・スクエア内のホテルトヨタキャッ
スルにて勉強会が行われました。

はじめに、鈴木会長（豊田まち
づくり㈱）から、「全国各地からの
勉強会参加の御礼と、第 6 回勉強
会開催の目的・内容」についての
開会のご挨拶を頂きました。

次に、開催地を代表し、鈴木市



長より、「新しいまちを目指し
環境にやさしく、人を大切に
するまちづくりを今後進めて
いく」とのご挨拶を頂きました。

続いて来賓として、国土交通省都
市・地域整備局まちづくり推進課 多
田企画専門官より、「全国の中心市街
地は、都市の規模も活性内容も様々で
あり、このような交流の場を活用して
欲しい」とのご挨拶を頂きました。

事例発表

「官民連携による豊田市中心市街地活性化の取り組
み、及び豊田まちづくり㈱の事業紹介」と題し、「官
民共働のまちづくり推進機関～
TCCMによるまちづくり～」に
ついて豊田まちづくり㈱河木取
締役（豊田商工会議所副会頭）か
ら、「豊田まちづくり㈱の地域住
民、商店街との共働のまちづくり
事業、及び中心市街地活性化協議会・TCCMで展開
した事業」のご説明をいただき、



「豊田まちづくり㈱の事業」につ
いて、豊田まちづくり㈱深津取締役
から、「豊田まちづくり㈱の設立経
緯、及び収益事業」を中心にご説明
を頂きました。



情報提供

今回は、分科会形式を行わず、中心市街地の活性化
のための支援制度の紹介を行いました。

国土交通省の支援制度

国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課 多
田企画専門官より、平成 22 年度に国土交通省のこれ
までの個別補助金を原則廃止して新たに創設される
「（仮称）社会資本整備総合交付金」の基本スキーム
について、現時点での状況についてご説明していただ
きました。次に、H21.12.14 に内閣府に設置された地
域主権戦略会議資料を用いて「地域主権戦略の工程表
（案）」の内容をご紹介していただきました。併せて
「中心市街地活性化基本計画の認定状況」「中心市街
地活性化関連のフォローアップ調査」「平成 21 年度
補正予算に盛り込まれた地域活性化施策」「中心市街
地活性化税制」などについてもご紹介いただきました。



続いて、中部地方整備局 建政部
都市整備課 中西課長より、「中部
地方整備局管内におけるまちづく
り交付金制度を活用した民間支援
等について」事例紹介があり、恵那
市・郡上市・熱海市・富士市・瀬戸
市・鈴鹿市・静岡市・名古屋市の事例とともに、本勉
強会の開催地である豊田市の「中心市街地イルミネー
ション事業」についてもご紹介いただきました。

経済産業省の支援制度

経済産業省 商務流通グループ 流通政策課 中心市街地活性化室 二井内中心市街地企画係長より「平成22年度 中心市街地活性化関連予算案及びその他の支援措置案」について御説明いただきました。

内容としては、「戦略的中心市街地商業等活性化支援事業」の平成22年度予算案の説明及び地元中部地区の代表的な活用事例として、金沢市の近江町市場のアーケード設置等についてご



紹介いただきました。また「中心市街地商業等活性化支援業務等委託費」のまちづくり会社等への支援の具体例として、同じく金沢市の広坂商店街・豎町商店街への専門家の派遣の事例紹介をしていただきました。

中小企業基盤整備機構の支援制度

独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域経済振興部 まちづくり推進課 安達課長より、「中心市街地商店街等活性化支援事業」、「中小総合経営支援事業」、「中心市街地活性化協議会支援センター」、「街元気シンポジウム」などの紹介が行われました。



地域総合整備財団（ふるさと財団）の支援制度

（財）地域総合整備財団 振興部振興課 まちなか再

生室 岡田まちなか再生室長より、「まちなか再生総合プロデュース事業」、「まちなか再生支援専門家派遣事業」などの紹介が行われました。



事務局4機関の支援制度



独立行政法人都市機構、（財）民間都市開発推進機構、（社）全国市街地再開発協会、（財）区画整理促進機構、4団体の支援制度について、（財）民間都市開発推進機構の佐野中心市街地活性化支援室長より「ノウハウ・人材支援」「資金支援」「事業支援」などの紹介が行われました。

「平成22年度からの全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議の運営に関するアンケート」の結果報告及び今後の連絡会議の運営についての意見交換

会長社の豊田まちづくり(株)杉本執行役員よりアンケートの報告と平成22年度からの会費徴収についてご説明がありました。



交流会

豊田まちづくり(株)が管理運営を行っている専門街「T-FACE」B館9階「スバカマナ」に会場を移し、鈴木会長のご挨拶及び日野副会長（株）まちづくり松山）の乾杯から交流会は始まりました。豊田まちづ

くり(株)のご配慮による様々な食材と、夜景をみながら盛大な会となりました。最後は、豊田市加藤副市長の締めで閉会となりました。

《第2日目》

第2日目は、前日と同様ホテルトヨタキャスルにて、豊田市から「豊田市のまちづくりの取り組みについてーITSを活用した交通まちづくりハイブリッ

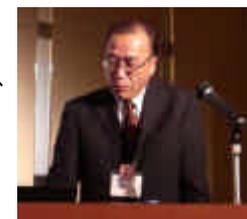


トシティとよたー」と題し 都市整備部 加藤調整監よりご説明があり、続いて「豊田市中心市街地活性化の取り組みー環境・緑化・



景観に配慮した人優先の都市づくりー」と題し、都市整備部都市計画課 羽根課長より、

「豊田市の再開発事業の取り組みーこれまでの経緯と今後の事業展開」と題し、都市整備部 岡田専門監より、それぞれ事例発表が行われました。



その後、2グループに分かれて現地視察を行いました。

ITS (Intelligent Transport Systems) とは、最先端“IT”を使って、通勤や買物、観光などの「移動 (= 交通)」をより快適により安全にしようとするもの。ETCやカーナビゲーションもITSの一つ。

現地視察

再開発コース

ホテルトヨタキャスルの屋上から中心市街地を鳥瞰し、次に、再開発事業で整備された「豊田参合館」にて、能楽堂、コンサートホール、図書館を見学しました。その際、コンサートホールではパイプオルガンの音色を聴くことができました。

【屋上からの景色】



【豊田市コンサートホール】



ジョン・ブランボー社製（米国オレゴン州）のパイプオルガンを設置したジュークボックス型のクラシック専用ホール。客席 1,010 席。

【豊田市能楽堂】



桃山時代を意識して造られた。客席 458 席。

交通まちづくりコース

スムーズな移動や公共交通の利用促進、中心市街地の活性化を図るため、道路情報や公共交通情報、地域情報などを提供する施設である「みちなびとよた（豊田市 I T S 情報センター）」を視察しました。次に、バス停 Q R コード及び総合公共交通情報板を視察し、最後に、太陽光による P H V（プラグインハイブリット車）充電施設を見学しました。P H V は、200V / 約 1.7 時間で充電完了し電気のみで約 23 km 走行可能です。

【みちなびとよた】



目的地への経路・交通手段の案内、目的地周辺の施設情報のほか、鉄道・バス等の公共交通の情報、観光・イベントの情報を提供。

【バス停 Q R コード及び総合公共交通情報板】



【P H V 充電施設】



最後に

今回は、平成 22 年 5 月中旬に東京にて総会を開催する予定です。詳細が確定しだいご案内致しますので、今回と同様多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議
会長 豊田まちづくり (株)

作成/平成 22 年 2 月